

ケーススタディ:

# TASSTAテクノロジーによる消防・防災業務の高度化

業界: 消防・防災

導入先: 消防・救急機関

地域: 英国

 ※本ケーススタディは、英国の消防・救急期間 (Entel Group) での導入事例を基にしています

## 背景

英国の大手消防・防災機関では、ミッションクリティカルな業務を強化するため、包括的な通信・安全対策ソリューションが求められていました。多様かつ高リスクな環境で緊急対応を行う同組織では、消防職員および保安要員のために、安全なリアルタイムコミュニケーション、位置情報把握、単独作業者の安全確保を実現する仕組みが必要でした。

職員は、火災現場、事故現場、遠隔地などの危険環境に頻繁に出動します。そのため、安全性の確保、業務効率の向上、迅速な緊急対応を可能にする技術基盤の導入が不可欠でした。

## 課題

### 高リスク環境での活動:

消防職員は常に危険と隣り合わせの環境で活動しており、人命救助には迅速な対応と明確な情報伝達が不可欠です。

### 単独作業者の安全確保:

危険環境で単独行動を行うケースも多く、職員の安全状態を常時把握し、緊急時には即座に通報できる仕組みが求められていました。

### リアルタイム状況把握:

人員の位置情報や事案状況をリアルタイムで可視化し、的確な部隊配置と効率的な指揮運用を行う必要がありました。

## TASSTAによる解決策

これらの課題に対応するため、当該消防機関では TASSTAのT.FlexおよびT.Lionソリューションを導入しました。TASSTAのテクノロジーは、通信・安全管理・緊急対応能力の強化を目的とした重要な機能を提供します。主な導入効果は以下のとおりです。



## 1. ミッションクリティカルなプッシュ・トゥ・トーク (PTT) :

TASSTAのT.Flexにより、全隊員間で\*\*安全なリアルタイムコミュニケーション (PTT) \*\*が可能となり、消防隊・安全要員・指揮本部間の円滑な連携を実現しました。迅速な判断が求められる緊迫した現場において、特に高い効果を発揮しました。

## 2. 単独作業保護 (LWP) :

認証済みの単独作業保護機能により、危険環境で単独行動する職員の安全を確保しました。専用ボタンによる緊急通報や、「Man Down」機能による自動検知により、指揮本部へ即時通知され、迅速な対応が可能となります。

## 3. リアルタイム監視・位置情報管理 :

T.Rodonにより、通信情報および位置情報をリアルタイムで管理し、指揮本部は事案発生時に職員の正確な位置を把握できます。これにより、現場状況に応じた迅速な判断と最適な部隊配置が可能となりました。

## 4. 統合指揮・管制機能 :

T.Lionプラットフォームは、通信チャネルの一元管理、通話記録、GPSデータ管理、各種安全機能を統合的に提供します。指揮本部は全体状況を把握でき、連携強化と対応時間の短縮を実現しました。

## 5. 可視化された緊急通報対応 :

緊急通報発生時には、周辺のカメラや音声チャネルを即座に起動し、現場状況を把握できます。これにより、的確かつ効率的なリソース配備が可能となりました。

## 導入効果

T.Flex、T.Rodon、T.Lionの導入により、消防・防災業務の運用能力は大きく向上しました。主な効果は以下のとおりです。

**通信効率の向上:** ミッションクリティカルなPTTにより、緊急時の通信が迅速かつ確実となり、対応時間短縮と隊員間連携の強化を実現しました。

**職員安全性の向上:** 単独作業者が即座に異常を通知でき、指揮本部による迅速な対応が可能となりました。

**緊急対応の迅速化・高度化:** リアルタイムの位置情報把握により、最適な部隊を迅速に現場へ投入できるようになりました。

## まとめ

TASSTAの先進的な通信・安全管理テクノロジーは、消防・救助活動において極めて有効なソリューションであることが実証されました。安全なリアルタイムコミュニケーション、単独作業者の保護、緊急対応力の向上により、消防・防災機関の安全性と業務効率を大きく高めています。